

市長 館山市

恋人の聖地活用提案へ

協会設立で初代会長に

全国の「恋人の聖地」選定地域市町村や協力企業が観光や地域振興を図る「恋人の聖地観光協会」が設立され、初代会長に館山市の金丸謙一市長が就任した。全国各地で連携し、交流人口・定住人口の拡大による地方創生を進める。金丸市長は「身に余る光栄で責任の重さをひしひしと感じる。恋人の聖地を活用した観光振興施策や旅行スタイルの提案を展開していきたい」とコメントした。



人地域活性化支援センター「006年4月から全国各地が地域振興を図るため、2」の地域やスポットを認定す

館山市の恋人の聖地スポットである城山公園。協会の設立により、さらなる魅力アップなどが期待される

る。館山市は「鏡ヶ浦から富士の見えるまち館山」として昨年7月に認定されている。観光協会はプロジェクトが10年の節目を迎えたことを機に設立。

全国137カ所の恋人の聖地選定地域市町村と86カ所のサテライト選定企業・団体などを会員とする。華道家の假屋崎省吾さんとファッションデザイナーの桂由美さんが発起人代表を務める。

今後、恋人の聖地に認定された県内や県外のスポット間で連携した施策や情報共有、現地から観光プランを提供する着地型旅行商品の共同開発などを展

開する。館山市担当者は「市だけではないPRや施策の広がり期待できる。観光スポットの磨き上げにつながる」と話している。